

様式例 10 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市緑化センター	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 ・代表者名 理事長 篠田 隆志 ・住所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	みどりの企画管理課長
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> 入園者数調査を5、7、2月の平日と休日にそれぞれ1日ずつ実施 5月9日(木)490人、5月5日(日)805人、7月23日(火)243人、7月28日(日)335人、2月26日(水)328人、2月22日(土)390人 ⇒ 平日平均(353人)、土日平均(510人) 年間約14万7千人 (平成24年度:6月1日(金)490人、6月3日(日)475人、9月4日(火)350人、9月2日(日)148人、3月22日(金)2,261人、3月20日(祝)1,539人) 緑化センターまつりでは、約5,300人の来場者を集めた。 講習会は合計34講座行い、受講者数は1,064名であった。(平成24年度:33講座、受講者数924人座) 緑化相談は総件数635件(平成24年度:758件)、内容は栽培管理、病害虫についてであった。
収支実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の収入 指定管理事業収入 46,980,000円(平成24年度:46,980,000円) 自主事業収入 465,501円(平成24年度:555,262円) その他の収入 2,473円(平成24年度:2,130円) 計 47,147,974円(平成24年度:47,537,932円) 平成25年度支出 事業費 13,066,091円(平成24年度:16,366,269円) 管理費 34,162,803円(平成24年度:31,417,572円) 計 47,228,894円(平成24年度:47,783,841円) <p>当期収支差額は△80,920円(平成24年度:△246,449円)であった。</p>
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 第4回緑化センターまつりの企画・運営を行い、約5,300人の来場者を集め、多摩区の魅力アップに貢献した。 催し物広場展示場での展示会の開催回数を増やし、市民の皆様楽しんでいただいた。 老朽化が進んでいた見本園(日本庭園)の改修リニューアルを行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	12	4	9.6
		2 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> 「ご意見箱」には、58件の意見が寄せられた。これらの意見・要望については、「植物の種類が豊富で大変満足しています」や「リラックスできる」等、ほとんどが好意的の意見である。 緑化センターの入口や幹線園路にスタンドフラワーボックスを設置するとともに、老朽化が進んでいた見本庭園(日本庭園)のリニューアル整備を実施し、景観の向上を図っている。 			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	3 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3	4.8
		4 支出に見合う効果は得られているか			
		5 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
適切な金銭管理・会計手続		6 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6
		7 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> 収支差額が約△8万円ほどあり、当期収入に比べて執行額が上回っている。 剪定枝の一部は粉碎して堆肥化するなど再利用し経費の削減に努めている。 修繕費については、見本庭園の改修の際、造園関係者の研修の場として活用したことで大幅な経費削減に努めている。 			

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	8 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		9 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		10 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	11 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		12 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		13 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	提案事業・自主事業の実施状況	17 施設利用者へのサービス向上につながる提案事業・自主事業を実施しているか	10	5	10
18 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の回数は水準(年12回)を上回り年34回実施し、受講者数についても1,064人と昨年(H24度924人)を上回っており、水準以上の取り組みをしている。また、講習会の内容についても、要望や相談が多いものを題材としており、サービスの充実を図っている。 ・展示会の開催数及び開催期間については、空白期間を少なくするため、季節にあった植物を展示するなどの工夫をして、水準(年7回)を上回り、年18回延べ307日間開催している。 ・緑化センターまつりを開催し、約5,300人の来園者を集め、地域振興、施設のPR等、大きな役割を果たしている。 ・利用者への車いす、乳母車の無料貸出や、ボランティア団体に対しての会議室の無料貸出等のサービスを継続して行っている。 					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	19 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	20 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	21 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	22 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	23 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	24 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度途中で嘱託職員が退職したことを受け、平成25年度から嘱託職員に代えてプロパー職員を配置し安定的な管理運営に努めている。 ・所管課との連絡・連携については、月例報告時に打ち合わせを行うなど、十分に行われている。 ・台風の影響で折れた枝の切除や降雪時の転倒防止策など、自然災害発生時にも適切な対処を行い安全管理に努めている。 ・講習会の応募者などの個人情報を保管庫に施錠して保管するなど、情報の取得の段階から、その利用、保管、廃棄にいたるまで適切に管理されている。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	25 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	樹木、草花及び種苗の管理	26 樹木、草花及び種苗を適正に管理しているか また、収集、保存、展示に努めているか	6	4	4.8
	施設更新計画	27 長期保全更新計画を立て、市へ報告しているか。	2	3	1.2
	清掃業務	28 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	4	3.2
	警備業務	29 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4
	外構・植栽管理	30 外構・植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	2	3	1.2
	備品管理	31 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設を適切に維持管理しているとともに、自主事業として見本庭園(日本庭園)の改修を実施している。 ・樹木、草花及び種苗に関しては、仕様書以上の水準で管理を行うとともに、病虫害防除の対策として早期発見による切除等を行い、農薬に頼らない管理を目指し、環境にも配慮している。 ・園内の日常清掃等は仕様書以上の頻度で実施されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内唯一の都市緑化植物園として、都市緑化の推進を図るという事業目的を達成するために、仕様書を上回る水準で講習会の開催や園内の維持管理を行うとともに、市の事業である「川崎市みどりのカーテン大作戦」に協力し、ゴーヤの苗を提供(3,400ポット)するなど、本市の緑行政にも貢献した。

また、地域と連携しながら緑化センターまつりを実施し、多くの来場者に参加していただくとともに、植物の展示会開催数の増加や要望の多い題材を取り入れた講習会の実施等、サービスの向上と本市及び多摩区の魅力向上に大きく貢献した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・講習会について、参加希望の多い題材を取り入れる工夫をしているものの、参加人数や開催数を増やしてほしいとの意見があるので、講習会開催時の補助職員の確保などの課題もあるが、可能な限り意見に対して取組むよう指導した。
- ・経費の支出について、2ヵ年連続で当期収入に比べて執行額が上回っているため、見直しを行うよう指導した。

また、特に予算と決算の差額が大きい修繕費については、改修対応が可能な施設の確認と実施の検討を依頼した。

- ・講習会の参加者は、市の広報誌の掲載の有無により増減していることから、市の広報誌のみでなく、緑化センター独自でのPR活動を行うよう指導した。